



こっこでしよ

2024

1

January

Nagasaki National Hospital

地域医療連携室だより



長崎病院 基本理念

地域になくてはならない病院として
質の高い、あたたかい医療の提供をめざす

長崎病院 運営方針

1. 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざす。
2. 地域に信頼される連携医療を展開する。
3. 専門的な重症心身障害医療療育を提供し、セーフティネットとしての役割を果たす。
4. 安全で質の高い医療を提供する。
5. 全職員で、教育・研修・研究の充実を図る。
6. 上記5項目を実現し継続するための健全な病院経営を行う。

目次 Contents

令和6年新年のごあいさつ	2
第77回国立病院総合医学会に参加して	3
障害者虐待防止全体研修会について	3
クリスマスパレード～そして、その先へ～ ...	4
病院食紹介	4
最新の画像診断 MRI・CT の共同利用のご案内 ...	5
外来診療担当医表	6

● 病院のくわしい情報はここから ●

長崎病院ホームページ <https://nagasaki-hp.hosp.go.jp/>



令和6年 新年のごあいさつ

病院長 山川正規



新年あけましておめでとうございます。

昨年中は皆様方におかれましては長崎病院へ多大なるご支援をいただきありがとうございました。当院が今年も無事新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

おかげさまで昨年10月にMRI検査（脳委縮評価支援システムVSRAD搭載）が運用開始となり、各診療部門の診断能力のアップにつながるものと期待しております。特に神経内科領域におきましては、5月の神経内科準教育施設の認定に引き続きMRI機器導入が評価されたことで、県から長崎県難病医療協力病院の指定を受けることとなり、改めて当院に対する県や大学からの期待の大きさを実感しております。長崎病院は昭和48年に重心（みどり）病棟の運用を開始以来、政策医療の一環として長崎県の重心医療を長年担ってまいりましたが、加えて神経難病医療につきましても今後さらに貢献できればと考えております。令和5年11月からはCT検査に加えてMRI検査の共同利用も開始しておりますので、近隣の先生方におかれましては患者さんの診療の一助としてご利用いただければ幸いです。

令和5年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は5類に分類されたものの、その後第9波が起こり改めて新型コロナウイルス感染症自体がなくなったわけではないことを思い知らされました。私自身も新型コロナに罹患しましたし、院内感染対策を徹底してきたにもかかわらず、この第9波により8月～12月にかけて院内クラスターが起きてしまい、入院患者さんとそのご家族の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしました。

そして、令和6年1月1日午後4時10分、能登半島地震が起き、甚大な被害がでてしまいました。亡くなられた方のご冥福をお祈りしますと共に被災された方々にお見舞い申し上げます。改めて地震災害がいつ襲ってくるかわからないこと、予知できないことを痛感させられました。石川県を中心として非常に多くの医療機関で停電・断水等の被害が生じているとのことですので、医療班の派遣依頼がありましたら、直ちに駆け付けることができるように準備をしておきたいと考えております。

さて経営環境的には、長引くコロナ禍の影響による医療機関受診控えで一般患者数が減少したことに加え、電力や物価等の高騰の影響もあり、医業収支に関しては厳しい状況が続いているところであります。さらに新型コロナの5類への変更に伴い、補助金などの財政支援の縮小と新型コロナ診療報酬の見直しなど今後も病院経営にとって厳しい環境が続くものと見られ、強い危機感を持って対応していく必要があると考えています。

昨年、『良質なあたたかい医療を提供し、地域に必要とされる病院をめざす』という目標の実現のため、「地域に必要とされる連携医療の展開」「安定した経営基盤の継続」等のかかげ、具体的目標としての入院患者確保、適正な診療報酬の請求、診療報酬点数のアップを職員に周知徹底し、また努力していただいているところであります。

長崎病院に対する地域の医療ニーズを的確に把握すること、それは急性期から回復期・在宅へつなぐ連携医療を強化し、セーフティーネット系（重心・神経難病）の病院として果たすべき使命を実践していくことであり、当院が『地域に必要とされる』病院として生き残っていくための必須条件ではないかと考えております。

今年は縁起がよいとされる辰年（たつどし）です。長崎病院にとって勢いのある活気あふれる年になれることを祈念して、私の新年のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



第77回 国立病院総合医学学会に参加して

5 病棟看護師長 溝口由美

10月21日広島で第77回国立病院総合医学学会が開催されました。そこで、昨年看護師長研究会で取り組んだ「退院支援フロー導入による平均在院日数の短縮への取り組み」についてポスター発表を行いました。

令和4年度に新規入院患者数の確保及び退院促進による経営改善に取り組みました。受け持ち看護師が主体となり退院支援を行うためには「退院支援フロー」が必要と考え導入しました。結果、新規入院及び退院患者数が増加し、平均在院日数の減少、特定入院基本料が減算される患者も減少し、入院患者1人当たりの診療報酬単価が増加したことを報告しました。現在も経営改善グループの取り組みは継続しています。

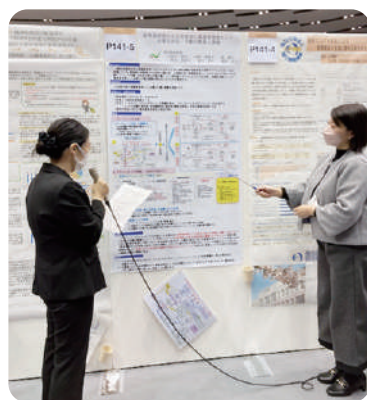
同じフロアの発表内容は、業務改善や薬剤科などの経営改善など新たな視点での方向性による報告で大変刺激を受けました。今後も当院の経営改善に向けて看護部でできることを考え取り組んでいきたいと考えました。



3 病棟 副看護師長 北川昌代

10/21(金)21日(土)第77回国立病院総合医学学会が開催されました。「未来へ向かって〜日本医療を支える国立病院機構〜」というテーマで、アフターコロナへの道が開かれようとしている中、長崎病院の役割としてより地域に密着した医療や看護の提供が求められているということを再認識する機会となりました。

私の副看護師長研究グループは、10/21に「副看護師長が火災発生時に看護管理者として必要な対応・行動の整備と課題」というテーマでポスターセッション発表しました。災害時の対応は、対応フローとアクションカードを作成することで誰もが戸惑うことなく行動できるという報告をしました。近年、九州地方でも地震が定期的に発生しているため、他施設からも参考にしたいとの意見をいただきました。今後も火災発生時に安全な対応ができるよう継続して取り組んでいきたいと思ひます。



令和5年度

療育指導室長 北島竜一

障害者虐待防止全体研修会について



10月30・31日の3日間(両日30分×3コマ、同内容で計6回)全職員を対象に障害者虐待防止全体研修会を実施しました。当院では毎年実施していますが、感染症対策の観点から集合での開催は3年ぶりとなりました。

今回は国立病院機構本部主催の研修参加の療養介助専門員による伝達講習と共に虐待防止施策の中でも近年、特に重要視されている「身体拘束適正化」についての内容で実施しました。

限られた日程での実施でしたが、300名を超える全職員中6割強の参加がありました。

更に集合研修を受講できなかった職員に対しても院内共有のパソコン上に資料を掲示、閲覧できるようにし、全職員100%が受講できるようにしました。

近年、障害者福祉だけでなく全ての分野においても権利擁護の意識は高まっております。

当院の基本理念である「地域になくてはならない病院として質の高い、あたたかい医療の提供」について今後も全職員で取り組んでいければと思います。



クリスマスパレード ～そして、その先へ～

療育指導室 保育士
松尾彩香



「メリークリスマス!」「リンリンリン…」と賑やかなあいさつと鈴の音が響き渡ったクリスマスパレード。

令和5年12月18日(月)、1病棟に入所されている50名の利用者の方を対象にサンタとトナカイに扮したスタッフ(看護師・保育士)が各病室を回る形態で行われました。

“いつものスタッフ”のサンタ・トナカイ姿を微笑ましく笑ってくださる方、プレゼントを喜んで受け取ってくださる方、クリスマスソングを一緒に口ずさんだり、手拍子をしてくださる方…サンタのミッションはプレゼントだけではなく、笑顔と温もりを届けること!でしたが、利用者の方たちの温かい反応に私たちがプレゼントをいただいたような気持ちになりました。

また、今年は利用者の方が病棟スタッフと一緒に作ったクリスマスカードを病棟に飾り付けました。作成過程では「どんなカードにしましょうか?」と病棟スタッフと利用者の方で相談をしたり、ペンを一緒に持ち、模様を描く楽しそうな様子が見られました。個性あふれる色とりどりのカードは目にも鮮やかでクリスマスパレードをいっそう華やかにしてくれました。

新型コロナウイルスが5類に移行後も病院という特性上、さまざまな感染状況に対応し、工夫を凝らしながら行事を実施してきました。行事は医療スタッフなど、多職種の協力で成り立つものです。しかし、日々の感染状況に対応しながら業務を行っている病棟スタッフに対して協力を依頼することは負担になるのでは…と心苦しく

思うところがありましたが、クリスマスパレードの計画やカード作成に病棟スタッフみんなが快く協力してくれ、勇気づけられました。そして何より今回のクリスマスパレードを通じて、改めて療養生活を送られている利用者の方へ“やすらぎ”と“うるおい”を届けることの大切さ、多職種で力を合わせることで「こんなすてきな活動ができるんだ!」と多職種連携・協働の可能性を強く感じました。次年度の日中活動や行事をより豊かに広げていきたいと思う私の背中を押してくれたのは言うまでもありません。



病院食紹介

栄養管理室 管理栄養士 松熊真由

謹んで新春のお祝いを申し上げます。皆様におかれましては新年を清々しい気持ちでお迎えのことと存じます。令和5年「こっこでしょ」1月号では、お正月料理を紹介しましたので、今回は長崎病院のクリスマス料理を紹介いたします。皆様ご存じの通り12月25日は「クリスマス(Xmas)」であり、イエス・キリストの誕生を盛大にお祝いします。ご入院中の患者さんにもクリスマスと一緒に楽しんでいただきたく、クリスマス料理を提供いたしました。フライドチキン、クリスマスケーキなど味はもちろんのこと、見た目も華やかに仕上がるように丁寧に盛り付けいたしました。病院食ではありますが、晴れやかな気分になっていただけたら幸いです。これからも患者さんのために、心躍る病院食を提供してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



クリスマスイブ



クリスマス



最新の画像診断MRI・CTの 共同利用のご案内

診療放射線技師長 築城聖二

▶ 令和5年11月1日(水)よりMRIの共同利用を開始しました! ◀



1,5 テスラ MRI

シーメンス社
MAGNETOM Avant Fit BioMatrix

令和5年10月2日(月)より長崎病院に最新MRI(磁気共鳴画像)装置が稼働開始しました。早くも1か月が過ぎましたが、60件以上の検査を実施しました。当院のMRI装置はドイツシーメンス社製の最新1.5T(テスラ)MRIとなっており、高速撮影が可能となっております。非常に強い磁石と電磁波を利用し、人体を任意の断面で撮影することが出来ます。X線を使わずに磁石を用いて検査を行うため、放射線被ばくの心配がありません。検査部位はおもに脳、脊椎(頸椎・腰椎など)腹部MRCP(MR胆管膵管撮影)、前立腺、婦人科領域、手関節・膝関節など全身の検査が可能です。さらに当院のMRIでは認知症検査(ブイエスラド)が検査可能です。これは現代の高齢化社会において増加傾向にあるアルツハイマー型認知症の検査として多くの施設で利用されている検査です。

令和5年11月1日(水)より地域のクリニック様を対象に当院の最新MRIの共同利用を開始させていただきました。是非、当院の最新MRIをご利用ください。



16列CT

キャノンメディカル社
Aquilion Lightning16列

次に当院のマルチスライスCTのご紹介です。16列マルチスライスCTとなっており、低被ばく・高画質の撮影が可能となっております。CTの実績は、令和4年度の実績が2,357件となっており共同利用実績は令和4年度が23件でした。とくに最近増加傾向となっており、MRI装置の導入により検査の選択肢が増えました。

当院の共同利用のラインナップは(MRI・CT・骨塩定量)と3つの高額医療機器のご利用が可能となりました。詳細は長崎病院ホームページをご参照いただき検査申込をお願いいたします。スタッフ一同先生方のオーダーお待ちしております。



外来診療担当医表

(令和5年10月1日現在)

診療科／曜日		月		火		水		木		金	
内科	初診	長 島 (呼吸器内科)		山 川 (消化器内科)	高 村 (生活習慣病予防外来) 第 1, 3, 5 週	濱 崎 (脳神経内科)		大 井 (呼吸器内科)		白 石 (脳神経内科)	
	再診	川 口 (血液内科)		吉 田 (循環器内科)		川 口 (血液内科)		吉 田 (循環器内科)		山 川 (消化器内科)	
		白 石 (脳神経内科)				松 尾 (脳神経内科)		濱 崎 (脳神経内科)		大 井 (呼吸器内科)	
		松 尾 (脳神経内科) 【午後】				安 部 (骨粗しょう症転倒予防外来) 第 4 週		富 田 (脳神経内科)			
	午後急患	濱 崎	(古賀)	白 石	(川口)	吉 田	(大井)	川 口	(濱崎)	古 賀	(吉田)
外科・形成外科				高 木 (外科)				塚 島 (形成外科)		高 木 (外科)	
小児科	初診	錦 井		津 留		田 中		久 野	安	得	
	心療内科			錦 井【午後】							
	発達療育外来					津 留【午後】 田 中					
	こども診察室 発達外来	山 口		山 口		山 口【午後】		山 口		山 口【午後】	
整 形 外 科		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)	
		大 学 (整形外科)		穂 山 (生活支援外来・ボトックス) 第 2, 4 週		穂 山 (生活支援外来・ボトックス) 第 3 週					
リハビリテーション科		西 山				古 賀		西 山			
検査	心エコー	吉 田 (循環器内科)				吉 田 (循環器内科)					
	腹部超音波	古 賀 (リハビリテーション科)				西 山 (リハビリテーション科)				古 賀 (リハビリテーション科)	
	内視鏡	山 川 (消化器内科)		西 山 (リハビリテーション科)				古 賀 (リハビリテーション科)		西 山 (リハビリテーション科)	

※診療受付時間…AM 8:40～11:30 ただし、【午後】の記載のある場合の受付時間はPM 13:30～15:30

※小児科の心療内科および発達外来は、完全予約制です。

交通案内図



独立行政法人 国立病院機構 長崎病院

内科/呼吸器内科/脳神経内科/循環器内科
消化器内科/血液内科/心療内科/精神科
小児科/小児外科/外科/形成外科/整形外科
リハビリテーション科

〒850-8523 長崎市桜木町6番41号
TEL 095-823-2261
FAX 095-828-2616

地域医療連携室

TEL 095-824-2788
FAX 095-808-0176

◆ 長崎バス「田上」「茂木」行きバス 田上バス停下車、徒歩5分 ◆ JR長崎駅から車で15分 ◆ 長崎ICから車で5分